



2021(仏暦2564)年 3月号 (第114号)

# 万行寺寺報

Mangyoji Jihō

発行

浄土真宗本願寺派 万行寺

住職 山崎信充

〒385-0003

長野県佐久市下平尾4 6 1 - 1

電話 0267-67-2460



## ■住職法話

食事のことば

## ■浄土真宗 (新) 仏事のイロハ

## ■本願寺の本

令和版 仏の教え

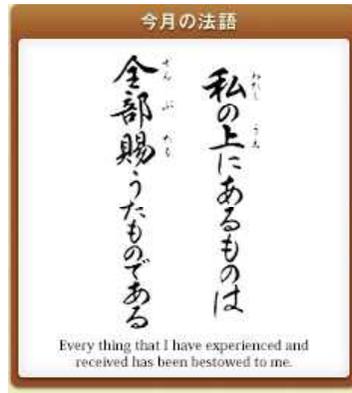
## ■編集後記

## 年忌法要表

1 周忌	2020(令和 2)年	23 回忌	1999(平成11)年
3 回忌	2019(令和 1)年	25 回忌	1997(平成 9)年
7 回忌	2015(平成27)年	27 回忌	1995(平成 7)年
13 回忌	2009(平成21)年	33 回忌	1989(平成 1)年
17 回忌	2005(平成17)年	50 回忌	1972(昭和47)年

# 住職 法話

## 食事のことば



宗門には、「食事のことば」というものがあります。食前後で手を合わせて唱和（しょうわ）します。

### 食前のことば

多くのいのちと、みなさまのおかげにより、このごちそうをめぐまれました。深くご恩を喜び、ありがとうございました。

### 食後のことば

尊いおめぐみを、おいしくいただき、ますます御恩（ごおん）報酬（ほうしゅう）につとめます。おかげで、ごちそうさまでした。

私たちの日々の食事は、多くの動植物のいのちを頂かなくては成り立っていきません。多くの尊いいのちによって支えられています。

また、この目の前の食事というのは、調理した人をはじめとして、食材を育てたりとったり、運び届けてくれた人など、多くの人が関わってくださっているのです。多くのみなさまのおかげであると感

謝するばかりです。

そういつた感謝のうちに、尊い恵みを頂いていることに気づくことばでもあります。何気なく口に行っている「いただきます」「ごちそうさま」の裏には、このような意味がこめられていると言えるでしょう。

そして、食べ物もそうです。授（たまわ）るものとして先ず私たちのいのちというものがあります。子が生まれると「授（たまわ）かる」という言い方もあるように、いのちも頂きものです。このように、全てのものを賜（たまわ）る頂きものという見方をすると、ありがたい感謝のうちに物事が進んでいきます。

しかし、食事やいのちに限らず、あらゆるものを「私のもの」という自分の所有物のような見方をしてしまうと、そこで流れは止まってしまいます。仏法（ぶつぽう）では「私のもの」という見方を戒（いまし）めます。今月の法語は、私たち人間の愚かな面に気づかされることばでもあります。今年一月号の「住職法話」でもお話しした、「生かされているいのち」にも繋がります。

以前にもふれましたが、あらためて「食事のことば」を掲載致しました。ご家庭の皆様（みなさま）で唱和（しょうわ）して頂くと、会話も弾むことでしょう。



### 浄土真宗

## ◆ 仏事 の イロハ

### 一、お仏壇のお飾り

— 仏さまを仰ぐ —

### 「整理と修理」

いつも清潔に整えてお  
きましよう！

お仏壇は「本尊を安置し、  
家族一人ひとりの心の依りど  
ころとなる」ところですから、  
つねに清潔で気持ちよく整え  
ておかなければなりません。  
ところが、月忌参りをしてい  
ますと、お仏壇の中に不要な  
ものが入っていたり、仏具が  
煩雑に置かれていたり、また、  
埃がたまっていたりするお  
宅がたまにあります。

こうした光景に出会うと、  
「お仏壇は心の鏡」と言われ

た先人の言葉が浮かんでき  
て、自らも心しなければなら  
ないと改めて思います。

それはさておき、お仏壇の  
中を整える第一歩は、それぞ  
れの仏具を定められたところ  
にきちんと置くことによ  
う。よく経卓の上にローソ  
ク立てや香炉を置いている方  
がいますが、経卓には経本  
のみを置き、ローソクや線香  
の箱、マッチなどは引出しの  
中に入れるか、お仏壇の傍  
にお盆や整理箱を用意し、そ



足の一本が正面にくるよう



こにまとめて置いておくとい  
いでしよう。

また、三本足のローソク立  
てと香炉は一本が正面にくる  
ように置きます。

次に、不要なものを置かな  
いというのも大切です。たと  
えば、①他宗の仏像や祖師像  
②お守りの札③茶湯器やコッ  
プ④位牌などです。これら  
は浄土真宗のお仏壇には用い  
ませんので、手次ぎのお寺に  
相談されて、取り除いてくだ  
さい。亡き人の写真もお仏壇  
の中には入れません。飾りた  
いのであれば、お仏壇の横や  
対面する棧の上などに掲げて  
ください。

最後に掃除ですが、漆塗りの  
部分はやわらかい布で乾ぶ  
きし、金箔の部分は毛ぼつき  
や乾いた筆で軽く払います。  
ともに塩分や水分を嫌います

ので、手で直接触れないこと  
です。真鍮製の仏具は金属  
磨きで磨きます。

また、マッチの燃えかすを  
香炉やリンの中に入れる方が  
いますが、マッチ消しや灰皿  
へ入れるようにしてください。  
い。

お仏壇自体が傷んでくれ  
ば、「お洗濯」(修理)する  
と新品同様になります。

### ポイント

- ▼ 仏具は定められた位置に
- ▼ 三本足の仏具は一本が正面に
- ▼ お札、写真は仏壇に入れな

い  
▼ お仏壇が傷めば「お洗濯」

「浄土真宗 ◆ 仏事 の イロハ」末  
本弘然著 / 本願寺出版社刊より



～本願寺の本～

新しい日常に向き合うヒント  
人生は苦の連続なれど、  
必ず道は照らされる



B6変形 並製236ページ  
定価(本体1300円+税)

浄土真宗本願寺派 第25代門主  
大谷光淳 著

令和版  
阿弥陀さまに  
おまかせして生きる  
仏の教え

すべてが当たり前でなく、ありがたい

親鸞聖人御誕生850年 慶讃法要  
立教開宗800年

Joint Celebration  
850th Anniversary of Shinran Shonin's Birth & 800th Anniversary of the Establishment of the Jodo Shinshu Teaching

法要期日

2023(令和5)年

第1期 3月29日(水)～4月3日(月)  
第2期 4月10日(月)～4月15日(土)

第3期 4月24日(月)～4月29日(土)  
第4期 5月6日(土)～5月11日(木)  
第5期 5月16日(火)～5月21日(日)

毎月16日はShinran's Day  
親鸞聖人のご命日です ご参拝ください

浄土真宗本願寺派  
龍谷山 本願寺

編集後記

先月にも「仏事のイロハ」  
についてお伝え致しました  
が、特に今月の内容につき  
ましては、ほとんどのご家  
庭のお仏壇では難しいと思  
われます。事情に合わせて  
頂いて構いません。正式な  
莊厳しょうげんに合わせたいとい  
う希望があるようでしたら  
相談にのります。◆「本願  
寺の本」のコーナーは変わ  
っていませんが、ご門主もんしゅ  
のおことばを、ぜひお薦めし  
たいです。次号は、他のお  
薦め本を紹介出来ると思  
います。

